

実施した交流プログラムの概要

資料6-8

(選定年度24年度(申請区分(II)))

スパイラル型協働教育モデル：リーガルマインドによる普遍性と多様性の均衡を目指して

【プログラムの目的・養成する人材像】

リーガルマインドを涵養することで、普遍的な原則を尊重すると同時に、ASEANの固有性・地域の多様性を理解し、地域を協調的発展に導く、日本とASEANの架け橋となるエキスパート人材を育成する。

【プログラム概要】

シンガポール国立大学、マラヤ大学、チュラロンコン大学及びアテネオ・デ・マニラ大学の各大学並びにシンガポール教育省付属ランゲージセンター(MOELC)、Muzaffar Syah Science Secondary School(MOZAC)、アントンパサマロットウィッタヤコム学校及びフィリピン・サイエンス・ハイスクールの各高校をパートナーに、ショートターム交流、セメスター交流、ダブルディグリープログラム及びインターンシッププログラムを有機的に組み込んだスパイラル型教育プログラム。

実績

		H24	H25	H26	H27	H28
派遣学生数	3か月未満	22	40	53	50	58
	3か月以上	0	2	3	3	2
受入学生数	3か月未満	0	34	30	21	30
	3か月以上	0	1	1	1	1

※H28受入は見込である

質の保証を伴った交流枠組み（相互単位認定、共同学位プログラム等）の形成

- これまでも交流実績のある、現地でのトップ大学をパートナー校としたため、質保証の問題が生じることは皆無。
- ネイティブの法律家である教員のドラフトした協定書をベースにしたため、実質的な問題は生じなかった。
- パートナー校との間に強固な信頼関係が構築されていたため、全ての問題は協議による解決を見た。（パートナー校と極めて良好な関係にあることは、クロージングイベントにてご覧になれるでしょう。）

平成28年9月実施ショートターム交流
(マレーシア・マラヤ大学にて)



プログラム参加後の学生のフォローアップ・出口対策

○プログラム参加後の学生同士の交流

→参加学生が閲覧、フォローするプログラムの公式HP・SNSにおいてこまめに活動報告をすることにより、参加学生同士の交流を促している。（その成果は、クロージングイベントでご覧になれるでしょう。）

○進路のフォローアップ・進路選択に対するサポート

→外国政府行政官を招いたセミナーの実施等、幅広い分野の職業人との交流機会を提供することにより、学生の進路選択の幅を広げる一助としている。



平成28年12月実施 世界展開力事業参加学生向けセミナー
(ブータン王国政府行政官の方によるレクチャー)

情報の発信・成果の普及



○ HP・SNS等による情報発信

HP <http://www.law.kyushu-u.ac.jp/sekaitenkai/>

Facebook <https://www.facebook.com/reinventingjapanproject/?fref=nl>

ホームページやSNSを通じて、イベント、および学内外のシンポジウム参加など本事業の取組や成果について広く周知している。

○ 学生によるフォローアップセミナーの開催

各提携校における成果報告、学内の低学年を対象とした体験発表会を実施し、成果の普及に努めている。

○リーフレットの配布

国内向けにリーフレットを作成し、オープンキャンパス来場者等の来学者に配布することで、成果の発信及び将来の参加学生に向けた情報提供を行っている。

今後の展開

- パートナー校・参加学生の満足度は極めて高く、事業継続を強く希望しているため後継プログラムに応募する予定であったが、後継プログラムについて発表がないため、具体的計画が立てられない。
- 本事業をもとに、グローバル＝ローヤー育成のための学部・修士一貫プログラム、GVプログラムを立ち上げ、これを中心に交流を拡充する。
- 引続きダブル＝ディグリープログラムを推進する。

**マラヤ大学 (マレーシア) と
ダブル・ディグリー協定の調印式を行いました。**



夢に輪郭を。

漠然と「世界に出たい」から、一步前へ。
あなたは、どんな姿で「世界で活躍したい」ですか。

